



Agresh

4
2024
月号
No.169

JA 十和田おいらせ

〒034-0081 十和田市十和田1-1-1 TEL:0176-23-0311 FAX:0176-24-1829
 代表者 JA十和田おいらせ 代表取締役 佐藤 洋一 E-mail: info@www.jaowada.or.jp
 〒034-0081 十和田市十和田1-1-1 TEL:0176-23-0311 FAX:0176-24-1829
 代表者 JA十和田おいらせ 代表取締役 佐藤 洋一 E-mail: info@www.jaowada.or.jp

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agresh

4
2024
月号
No.169



特集 皆さんの声をお聞かせください! ~全区域で地区別懇談会~

農家さんの料理教室
 一周回ってとろろでしょ!!
 とろろふっかけご飯



日本農業新聞でも紹介されました!
 (4月11日付)

調理時間: 10分

材料(3人分)

ナガイモ	1/2本
ひきわり納豆	1~2パック
卵	1~2個
ネギ	お好みの量
ご飯	どんぶり3杯
しょうゆ	適量
(白だしや味噌などお好みの調味料)	

作り方

- ① ナガイモの皮をむいて、すり鉢ですりおろす
- ② ①に卵を落とし入れ、ひきわり納豆を加えて混ぜる(付属のタレがあれば入れてもOK)
- ③ しょう油を入れて味を調える
- ④ ネギをたっぷり加えて、軽く混ぜ合わせたら完成!

Point

- オクラを入れて粘りを追加してもよし!
- カツオ節を入れて、ダシを楽しむのもよし!
- 納豆付属のからし以外にも、ワサビでもよし!

今月の先生



藤坂支店管内
 野菜推進委員会がいの専門部会長
 竹島大志さん

小さい頃から母がよく作ってくれた定番の一品です。食欲がない時や時間が無い時でもさっと食べることができますし、卵や野菜が入っているので栄養も抜群!

包丁やまな板の片付けが不要なのも嬉しいポイントです。飲み込む力が弱い高齢者などは、ナガイモ特有の粘りで誤飲しづらく食べやすいですよ。

ナガイモは味にクセがなく、生でも、煮ても焼いても、どのように調理してもおいしく食べられます。農家は掘り取りをがんばるので、皆さんはたくさん食べて粘り強い応援をお願いします!

JA独自の営農支援対策

令和6年度 畜産経営特別支援事業

対象期間……令和6年4月1日～令和7年3月31日
支払予定日……令和7年4月下旬

1. 黒毛和種枝肉価格低迷助成

対象 牛 … 格付規格A4以上で枝肉価格1Kg当たり2,000円(税抜)を下回った出荷牛
但し、令和元年度枝肉平均価格が2,000円を下回っていた農家は対象外とする
支援内容 … 販売牛1頭あたり 50,000円(税別)以内
助成総額 … 5,000,000円(税別) ※上限に達した場合は頭数で按分する

2. 黒毛和牛枝肉産地銘柄確立助成

対象者 … 肥育牛部会加入者が「白鵬85-3」産子(去勢)を市場購買した場合
支援内容 … 購買牛1頭あたり 30,000円(税別)以内
助成総額 … 1,500,000円(税別) ※上限に達した場合は頭数で按分する

3. ゲノム解析料金助成

対象者 … 優良産子雌牛保留のために、ゲノム検査を実施した場合 ※繁殖牛・酪農牛
助成内容 … 5,000円(税別)以内 ※分析料金15,500円(税別)
助成総額 … 2,000,000円(税別) ※上限に達した場合は頭数で按分する

4. 農協預託家畜金利助成

対象者 … 農協預託家畜により素牛導入している肥育農家
助成内容 … 預託家畜金利 年1.2%を全額助成する
対象牛 … 農協肥育預託素牛
助成総額 … 280,000円(税別)

(対象頭数17頭×想定単価550千円×1.2%×900日/365日=280千円)



令和6年度 産地拡大対策事業

1. 労働力対策(作業機械導入助成)【継続6年目】

- 対象品目 … ニンニク、ネギ
- 対象作業機械 … ニンニク植え付け機およびニンニク収穫機
(1条掘りコンバイン型、又は4条引き抜き方式)
ネギ収穫機(1条掘り)およびネギ出荷調整機械(ベストロボ)
- 助成上限金額 … 1戸当たり1台
購入価格の4/10または1,000,000円のいずれか低い額
- 事業規模 … 10台(ニンニク機械・ネギ機械合わせて)



2. 種苗費等助成

ながいも優良種苗(ムカゴ)助成【継続】

JAより購入したムカゴ代金の一部として1kg当たり1,000円(消費税別)を助成
※但し、当JAの組合員とし、標準出荷数量(2t/10a)の8割以上の出荷がある
生産者を対象とする

3. 健康な土づくり助成(土壌診断料の一部助成)【継続】

令和6年度に当JAで実施した土壌診断に対し、診断料金の一部として1点あたり
750円(消費税別)を助成

- 対象期間 … 令和6年4月1日～令和7年1月31日受付分
- その他 … 助成対象者は当JA組合員またはその家族とする

事業費の総額 20,000,000円(消費税別)



おらんだの農業新時代!!



牛の管理は任せて!



これは何?
(P9参照)



管内の笑顔を収穫

畑でみっけ

未来に残したい農風景やおいしい顔、
農業仲間とのひと時など、
“食”と“農”に関する写真をお寄せください♪

- お名前(ペンネーム可)
 - 写真のタイトル
 - 撮影時の様子
 - 撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail kikaku@jatowada-o.or.jp

営農指導員が伺います!
担い手パワーアップ・アクション始動!

大募集!!



「しもだサーモンパーク」に巨大サーモン出現! ?
(P8参照)



目次	1
楽しむ管内の笑顔を収穫畑でみっけ	2
お知らせ JA独自の営農支援対策	3
特集 皆さんの声を	4
お聞かせください	4
〜全区域で地区別懇談会〜	4
ニュース Photo News	6
活動紹介 POMS	9
いきいき活動	9
お知らせ 令和6年度定期人事異動	10
紹介 私たちが新JAマンです!	12
〜新採用職員紹介〜	12
お知らせ 情報掲示板	16
お知らせ かだあく情報	18
楽しむみんなの広場	19
料理 農家さんの料理教室	20
〜一周回ってどうでしょう!!	20
〜おなかを満ちかき飯〜	20
【竹島大志さん】	20

Agresh 4 2024 月号 No.169



皆さんの声をお聞かせください

～全区域で地区別懇談会～

2月29日～3月4日にかけて、10カ所すべての地区で地区別懇談会を開きました。農家組合員出席のもと、令和5年度の事業動向や事業別の活動状況などを説明しました。今回の特集では、各会場での主な質疑応答を紹介します。



やさい・指導

Q1 昨年ニンニク種子の回収により、JAからの供給が極端に少なくなった。種子の供給確保のため、令和6年度はどのように増やしていくのか。

A1 農業技術センターのニンニク種子を6万球供給しましたが、虫害の被害球が十数球確認されたことから回収いたしました。今後は農家委託によって増やしていきます。防除など徹底した管理で、生産者の皆さまに優良種子を供給してまいります。

Q2 県外への販売要請も良いが、当組合にいる約1,000人の組合員に対する販売戦略を検討してほしい。当JAの名前や特色を出して、地産地消による販売に取り組んではどうか。

A2 県内の大手スーパーなどは、市場を通して野菜の仕入れを行っています。当JAの野菜も店頭に並んでいます。JA名の表示販売はされていません。包装資材等を工夫し、JAブランドが目に見えるような販売戦略を検討します。

Q3 早い時期にカボチャを生産したいが、霜の被害が第に懸念される。その対策に支援があると助かる。

A3 農協としても、長期出荷に期待しています。霜対策について確認し、支援できるものがありましたら、部会等を通じて対応していきます。

Q4 若い農業者はJAを「業者」としか見ておらず、単に値段の高い業者に出荷していると思う。業者であれば、ありがとうございます。という感謝の気持ちも伝わってくるが、JAは上から目線だと思ふところが多々ある。JAも努力してもらいたい。

A4 丹精込めて生産された農産物への思い、出荷された組合員の皆さまに対する感謝や労いの気持ち、現場の職員・スタッフに欠けていることが要因と思われる。いただいたご意見を全職員へ共有し、適切な教育と対応を指導してまいります。

Q5 ゴボウを11月の下旬から12月上旬まで出荷していたが、1月になっても精算されなかった。担当者に電話したら1月末に入るとだけ言われた。

A5 お預かりしたゴボウは、市場からクレームがないよう規格や数量を再検品して出荷しています。令和5年度は例年にないほどJAに集荷され、野菜センターに入庫いただいた時から出荷まで時間がかかりました。今後は1日でも早い精算に努めていきますので、ご理解をお願いします。

Q6 100m掘りした共励会用のナガイモを七戸の施設で洗浄したら、A品であったものが、傷がついたり、折れたりしてBやC・D品になった。折れても機械の確認をすることもなかった。洗浄施設の作業手順や事故の対処、責任、報告など今一度見直ししてほしい。

米穀畜産

Q1 自分で精米所をもっているのに、なぜ輸出米はカントリーを利用しなければならぬのか。管内の米は輸出されているのか。

A1 米の卸業者から、長期保存とため水分等の要件を均にと要望されています。徹底した管理の中で保管・出荷しなければならぬことから、カントリーの利用をお願いしています。JAとして輸出米に取り組む予定となっております。農家の手取りを増やすよう卸業者、海外の販売先と十分に協議して進めていきます。

Q2

令和5年の「はれわたり」種子はJAへの配分が増えたはずなのに、3割程度しか配分されなかったのはなぜか。

A2

令和5年度の当JAの「はれわたり」種子は25,800kgの申し込みがありましたが、7,500kgの割り当てを按分したところ、申し込み数量に対して30%程度の配分となりました。少ない数量の方については、各支店の担当者から声をかけ対応・調整しております。

Q3

「はれわたり」はいつ頃から切り替わるのか。特Aになったが、今後の作付面積の拡大に向けた取り組みはあるのか。

A3

「はれわたり」については、全農による県外出荷の評価を見ながら県域の種子量を決定していくこととなります。当面は「まっしぐら」の手取りの方が高い状況が続くと考えています。令和8年産以降については状況を見ながら検討していきます。

Q4

「まっしぐら」の引き合いが強いと言っていますが、ランクが1つ下がりました。JAの見解はどうか。

A4

過去に「まっしぐら」も特AやA'になった時がありました。ランクによる引き合いの影響はありませんでした。

Q5

令和5年の夏季、高温の影響で、乳牛の乳量や受胎率が下がったのに、職員の巡回がなかった。対応が遅すぎるのではないか。

A5

支店の畜産担当者によるパワーアップ・アクションでの巡回強化に努めていきます。遅くなりましたが、高温被害への対応は当JA独自で対応することとなりました。

Q6

現在、菜種を横浜町支店で乾燥調整しているが、麦については業者へ委託している。業者も高齢化しているため、委託できなくなった時の対応について検討してほしい。

A6

小麦の乾燥調整については、現在カントリーで受け入れを行っています。カントリーまで運搬して品質が低下することはありません。また、菜種の乾燥機を2機導入し、令和6年度から稼働する予定です。

購買

Q1

連休にネギの箱が足りなくなつた時、十和田の購買事務所はどこも開いていなかった。どこかで対応してもらえないか。

A1

配送センターの施設内では、有機肥料のニオイがつく懸念があり、段ボールと一緒に保管することができません。ネギの集荷施設等に置くことを含めて内部で検討します。

Q2

高温によって牧草が枯れてしまい、時き直すために種を注文したところ、種がないと言われた。今までのような種は無かったがなぜか。

A2

牧草の種子は基本的に予約注文で対応していただいています。令和5年は異常気象によって種苗会社においても在庫がない状況でした。今後はその年の状況を見極め、希望に応じた供給ができるよう検討していきます。

Q1

人口や農家の減少が著しく進むなかで、今後の組織経営の体制について教えてください。

A1

全国的に人口、担い手の減少が進んでおり、他業種と比較して農業は所得が低く、経済的な面から後継者が育ちにくい状況です。JAグループとして、生産者が生産意欲を失わない仕組みづくりや農業への予算確保について政府に要請しています。あわせて、女性部や青年部、生産組織メンバーと地域を発展させるための取り組みについて意見を交わし、組織経営に反映させていきたいと考えます。

子会社

Q1

酪農家は災害時であっても、朝晩搾乳しなければならぬ。搾乳で使用する発電機も燃料がないと動かせないので、燃料を供給できるような体制づくりを願いたい。

A1

ローリー等で災害対策を行っています。引き続き災害時の対策について協議・検討していきます。

Q2

エコーの不祥事について、その後の対応を教えてください。

A2

社員の割引があると誤った認識により、価格を下げたガソリンを自車へ使用した社員は20名ほどおりました。当該社員からは、値下げ金額のすべてを返還してもらい、JAや子会社役員についても、報酬の自主返納を行いました。社員については勤務地の異動や退職した社員もいます。JAグループとしても、中央会の指導に基づき、令和5年4月より毎月1回不祥事再発防止委員会を開催し、不祥事の未然防止に取り組んでおります。

【その他】

●組合員用のガソリン供給単価を検討してほしい

●ナガイモ栽培には大型機械が必要のため、その投資費用も大きく、新規での取り組みが難しい。生産者の減少ならびに若い人が新規で取り組めるように、乗用の管理機などへの助成を願いたい

●販売に優位性をもたせるため、土壌分析と「TOMIVEGE」(十和田おいらせみネラル野菜)を差別化してほしい

3/28 **ダイコンの春まき作業スタート**

おいらせ町地区で3月下旬から、ダイコンのトンネル栽培が始まりました。2月からの低温や降雪の影響で、例年に比べて10日ほど遅いスタートとなりました。今後は気温の上昇が予想されることから、例年通り5月下旬からの収穫を見込んでいます。

県内で最も早く収穫を迎えるメリットを生かして、良品生産で売り場の確保につなげ、有利販売を目指します。

法霊崎誠也さんは、祖父母と3人で作業に精を出しています。「天候で変わる栽培の難しさを毎年痛感している。細かな作業が品質に影響するので、管理の徹底で良質生産を図りたい」と話していました。



▲春まき作業に精を出す法霊崎さん

3/7 **甘くておいしい「ももいしいちご」出番**

ももいし支店管内で、生食用イチゴ「ももいしいちご」の出荷が本格化しています。

今春は昼間の気温が安定せず、受粉に重要な蜂の動きが鈍いのも影響して、奇形が例年より多いですが、甘み十分で食味は良好。出荷は6月中旬まで続き、JA直売所「かだあ〜れ」や「おはよう広場」の他、県内の食品スーパーマーケットに並びます。

45年以上栽培する橋本愛子さんは「気温が不安定で栽培がとても難しい。ビニールハウス内の温度管理を徹底して、最後まで甘いイチゴを届けたい」と意気込んでいました。



▲とれたての「ももいしいちご」を出荷する橋本さん(左)と検品するJA職員

3/15 **彼岸向け団子3000個販売**

彼岸の期間中、当JAの加工所では加工グループの団子作りが盛んに行われ、彼岸明けまでに予約注文と直売所「かだあ〜れ」の店頭を合わせて3000個を販売しました。香り高いよもぎと白の2種類で、ふっくらと優しい味わいにファンが多く、毎年店頭では次の入荷を待ち望む声が多く聞かれています。

団子は1個(100g)160円。よもぎ団子のつぶあんとしあんの2種類は通年「かだあ〜れ」で販売し、人気商品となっています。

団子づくりのメンバーは「お客様の『おいしかった』という声が一番の褒め言葉。作業は大変だけど、感謝を込めて作り続けたい」と話しています。



▲彼岸向け団子作りに忙しくするメンバー

Photo News 

地域話題を紹介します

3/1 **小笠原さん、畑山さんに栄冠** ~子牛管理品評会~

当JAと十和田市黒毛和種改良組合は、三本木畜産農協で子牛管理品評会を開き、市内の繁殖農家26戸が育てた月齢12カ月未満の雌牛41頭、去勢牛22頭が出品されました。審査の結果、雌牛の部は小笠原通則栄さん出品の「まりあ」、去勢牛の部は畑山廣志さん出品の「藤寿」がチャンピオン賞に輝きました。

雌牛の部チャンピオン賞の小笠原さんは「牛の体が小さかったのでよく食べさせるように努力した。成果が現れて嬉しい。良い牧草と適正な管理で良質な牛を作りたい」と喜んでいました。



▲雌牛の部チャンピオンの「まりあ」と小笠原さん

- ◇優秀1席◇雌牛の部= 小笠原信雄
▷去勢牛の部= 農工園
- ◇優秀賞 ◇雌牛の部= 白山雄治郎、小笠原信雄
小原大、前川原弘文、中野渡成人
▷去勢牛の部= 前川原弘文、中野渡成人
—敬称略



▲去勢牛の部チャンピオンの「藤寿」と畑山さん

3/8 **生産現場の強化へ** ~稲作振興会通常総会~

JA稲作振興会は本店で通常総会を開き、部会員ら40人が出席しました。令和5年産米は管内全体の契約数量約38万3千俵に対し、集荷実績は34万5千俵となり、達成率は90.2%(前年実績比97.1%)となりました。

今後は、低コスト生産体制の提案や展示圃設置による実証試験、スマート農業の取り組みなど、生産現場を強化していくことを申し合わせました。

- 【坪掘り共励会受賞者】
- 総合の部 / 最優秀賞…野崎武博(藤坂)
優秀賞…佐藤茂寿(大深内)
優良賞…米内山元(上北)
 - 良食味の部 / 最優秀賞…氣田欣弘(三本木)
 - 多収の部 / 最優秀賞…藤森勉(藤坂)



▲坪掘り共励会の受賞者

3/5 **中野渡さん3部門で受賞** ~肥育牛部会通常総会~

JA肥育牛部会は本店で通常総会を開き、部会員ら20人が出席しました。年間の優良生産者表彰では、中野渡正光さんが最優秀販売額と最高単価、上物率の3部門で受賞しました。

あいさつで氣田重由部会長は「日頃からの牛に対する愛情と細かな肥育管理は確実に、結果につながっている。共に支え合いながら、1つずつ課題に立ち向かい、和牛のさらなるブランド強化につなげよう」と呼びかけました。

「あおもり十和田湖和牛」は甘みのある味わいから、JA直売所「かだあ〜れ」のほか、当JAネットショップで好評を得ています。



▲3部門で受賞した中野渡さん(左)と氣田部会長(右)

pick up **イキイキ活動**

牛の良質生産を支える肉用牛ヘルパー部会
 ～削蹄師グループ～
 さくていし



MEMO

当JA肉用牛ヘルパー部会は、牛の削蹄や毎月開催される市場への運搬、乾草の運搬、飼養管理などを行っており、肉用牛飼養者の経営支援に取り組んでいます。

【令和5年1月～12月までの利用実績】
 市場及び放牧等の運搬……746頭
 削蹄……2,226頭
 部会員146名のうち、140名にヘルパーを派遣しました。

削蹄作業のここがスゴイ!!

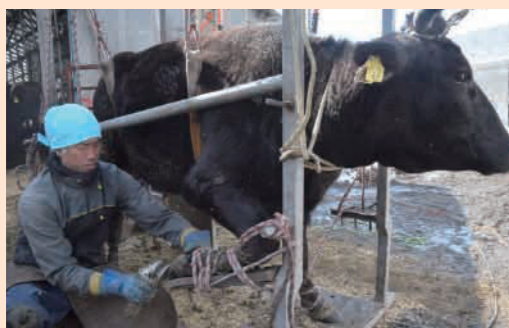
1 牛と人との力くらべ

牛の重さは子牛でも200キロ以上。削蹄するための柵に誘導するにも一苦労。



2 ミリ単位の繊細な作業

牛によって蹄の形はそれぞれ。長すぎても切り過ぎても歩行バランスが崩れるので慎重に。



部会員に聞いてみた

Q 削蹄って何ですか

専用の鎌やすり機を使って、牛の蹄(ひずめ)を切り揃えることをいいます。人間の爪が伸びるように、牛も蹄が伸びてきます。長くなった蹄を放っておくと、歩行バランスが悪くなって、ケガをしやすくなったり受胎率に影響したりするので、牛の健康には欠かせない作業です。想像以上に繊細で、作業できるのは削蹄師の資格を持つ者だけ。毎年、年明けから春にかけてと、市場に出品する前の月に削蹄しています。

Q どのような思いで作業していますか

飼養者から預かった大切な牛を傷つけないように、そして、削蹄師も蹴られる可能性があるので、お互いにケガをしないことを第一に考えて真剣に取り組んでいます。削蹄をとおして、牛の質を上げ、「あおり十和田湖和牛」のブランド力をさらに高めていきたいです。



Before

after

3/11~12 **優雅な旅を満喫**
 ～年金友の会～

年金友の会の会員43人は、2日間の三陸鉄道お座敷列車貸切と北三陸の旅を楽しみました。

1日目はNHKの朝ドラ「あまちゃん」で登場したお座敷列車で景色を楽しんだほか、「海のアルプス」と呼ばれる景勝地を散策。夜は三陸海岸の大パノラマを背景に、紺碧の海が眺められるリゾートホテルに宿泊し、海の幸を堪能しました。

2日目は浄土ヶ浜遊覧船で自然の芸術を満喫した後、宮古市魚菜市場や道の駅などを巡り、たくさんのお土産を買い求めていました。



▲2日間の旅を楽しんだ年金友の会の会員ら

2/2 **ナガイモやゴボウ提供で子ども食堂に協賛・協力**

イオンモール下田で「フードパントリーおいらせ地域食堂(NPO法人ワーカーズコープ)」が開かれ、ひとり親家庭や一般家庭を含めた100世帯に食料品や日用品が無料配布されました。町内の企業、団体が支援・協力し、下田支店とももし支店ではナガイモとゴボウを提供しました。

百石高校の生徒7人もボランティアとして参加し、事前の袋詰めや当日の配布を手伝い、活動をサポートしました。



▲野菜の配布をサポートする百石高校の生徒

3/23 **おらんだの農業新時代!**
 知事と意見交わす

JA本店で、青森県が開く県民対話集会「#あおばな」が開かれ、宮下宗一郎知事と30～40代の若手農家12人が今後の地域農業について意見を交わしました。若手農家からは、人手不足の解消や耕畜連携の推進、補助事業の見直しなど現場の現状や課題などについて意見が出ました。

宮下知事は「課題をどのように共有し、どのように乗り越えていくのが重要。皆さんの想いを受け止めて、農業の伸長・発展につなげていきたい」と話していました。



▲若手農家と意見を交わす宮下知事

3/16 **大きくなって、また会おうね!**

おいらせ町のしもだサーモンパークで、日米合同鮭の稚魚放流会が開かれました。下田支店の職員もボランティアとして参加。放流された稚魚約40万匹は、4～5年かけて放流した奥入瀬川に再び戻ってきます。

この日は町内の10カ所のこども園やアメリカ軍三沢基地の関係者、その家族など約580人が参加。稚魚が入ったバケツを持った子ども達は「大きくなってね」と声を掛けながら、そっと川に放していました。



▲稚魚を放流する子ども達